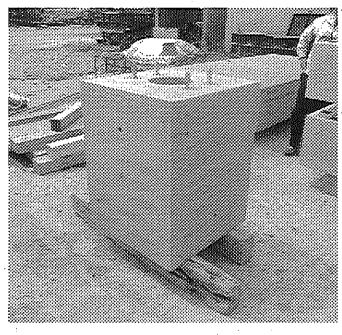
コスト縮減、美観向上

防雪防風柵用基礎CB開発

理研興業と日本高圧コンクリート

防雪防風柵の理研興業(小樽市)は日本高圧コンクリート(札幌市)と防雪防風柵用基礎コンクリートブロックを共同開発した。

同製品は、ブロック内部の上部が、表面に凹凸を施した円形孔状で下部が台形の空間となっており、所定の位置に配置されたアンカーボルトが台形状の空間に突出している構造となっている。設置後に上部円形孔部から充填されたコンクリートが台形状の空間内でアンカーボルトと硬化後に一体となり、上部円形孔部の表面に施された凹凸により付着力を増すことで一体性をさらに強める仕組み。



耐凍害性に優れる防雪防風用基礎コンクリートブロック

また、吊上げ用と天端高さ調整用のインサートが設けられており、設置作業や設置後の微調整が容易となる工夫もされている。

従来の基礎工法と比べ、現場溶接不要で養生期間の工期短縮、作業性向上、型枠および打設に係るコスト削減が図られる。工場製作であるため、品質の確保と美観性が向上され、作業上での現場管理も容易だ。H鋼杭、鋼管杭、PC杭等の対応が十分であり、特に耐凍害性に有効な工法。

また、コンクリート劣化防止対策にも対応ができる。

実際の状況を想定した風速による荷重載荷試験やアンカーボルトの引抜耐力試験などの各耐力試験では、従来の基礎工と同等以上の安全性の確認と結果を得ている。

販売は両社共同で行い、国土交通省、県、市町村や土木・建設会社へのPRも合同で進めていく。理研興業では、開発に当たりコンクリート技術者を採用しており、防雪防風柵メーカーとして基礎工法でのコンクリート工学でも知識の蓄積を進め、発注者、施工業者からのニーズに対応する方針。

今後は、防雪柵診断システムにコンクリート診断を付随して行い、既存の更新時期の明確化や延命対策など関連技術も確立する。問い合わせは理研興業東北営業所☎017(735)1888へ。